

授業科目名	保育内容表現Ⅱ		担当教員名	石田 晶大
必修/選択	必修（幼稚園教諭2種免許/保育士資格）	開講学年・学期	2年 通年（年間開講数 2講座）	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位（60時間）	
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 保育の内容・方法の理解に関する科目（別表1/2）	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※「保育内容演習」の指導内容を含む	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長と造形活動の関わり、役割について深く考えることができる。</li> <li>・自らの造形能力を生かして創作絵本を制作することができる。</li> <li>・創作絵本の発表会を通して、他者の作品の良さを発見することができる。</li> </ul> 1-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） <ol style="list-style-type: none"> <li>①各領域のねらい及び内容：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> <li>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</li> <li>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</li> </ol> </li> <li>②保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</li> <li>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</li> <li>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</li> <li>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組みることができる。</li> </ol> </li> </ol> 2-保育内容演習 <ol style="list-style-type: none"> <li>①養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</li> <li>②子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点（「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域（「健康・人間関係・環境・言葉・表現」）を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</li> <li>③上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</li> <li>④子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の実際について理解する。</li> </ol>			
授業の概要	幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す領域「表現」のねらいと内容について理解させ、子どもの成長発達と造形活動の関わりについて学び、保育、教育の現場で役立つ実践力を身につけることをめざす。具体的には、今まで身につけてきた造形能力を生かし、本校の造形に関する授業の集大成として創作絵本の制作に取り組みさせる。物語の展開は10場面以上とし、1年次で修得した平面技法やポップアップカードの飛び出す仕組みを応用させる。			
テキスト	「幼児造形の基礎～乳幼児の造形表現と造形教材～」樋口一成著（明文書林）			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社），授業に関連する資料はプリントして配布する。			
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度…授業準備、作品等の提出状況（20%）</li> <li>・知識理解…レポートや配布プリントの記述（10%）</li> <li>・造形的な技能…作品の密度や完成度、丁寧な取り組み（70%）</li> </ul>			
授業計画	授業の内容		到達目標番号	
第1回	オリエンテーション（授業のねらいと計画、評価、授業内容は参考作品等で解説）		(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①	
第2回	さまざまな平面技法、ポップアップの飛び出す仕組みの振り返り		(1)-②	
第3回	絵本制作Ⅰ 創作絵本制作ガイダンス／計画書・試作本の提出、進捗状況の確認		(1)-②,(2)-①	
第4回	絵本制作Ⅱ 発想・構想①：ストーリー（物語）の完成		(1)-②	
第5回	絵本制作Ⅲ 発想・構想②：絵コンテの制作（平面技法とポップアップカードを取り入れて）		(1)-②	
第6回	絵本制作Ⅳ 発想・構想③：平面技法とポップアップカードで発想・構想の深化		(1)-②	
第7回	絵本制作Ⅴ 制作①：1～4頁目までは平面技法を中心に制作		(1)-②	
第8回	絵本制作Ⅵ 制作②：5～7頁はポップアップカードを取り入れて制作		(1)-②	
第9回	絵本制作Ⅶ 制作③：8～10頁は平面技法とポップアップカードを併用して制作		(1)-②	
第10回	絵本制作Ⅷ 制作④ 自作の絵本の完成		(1)-②	
第11回	製本についてのガイダンス 材料・用具の確認と製本手順、留意点の説明		(1)-②	
第12回	製本 ハードブック装丁を予定		(1)-②	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	創作絵本発表会Ⅰ(クラスの半数が発表) 自作絵本の読み聞かせ(教育の方法及び技術)と意見交流会(対話的、深い学び)	(1)-②,(2)-①,(2)-②
第14回	創作絵本発表会Ⅱ(クラスの残り半数が発表) 自作絵本の読み聞かせ(教育の方法及び技術)と意見交流会(対話的、深い学び) 全員の発表後、アンケート等を実施し、振り返りを行う。	(1)-②,(2)-①,(2)-②
第15回	レポート作成 テキスト「幼児造形の基礎」を読んで「造形表現の目標とねらい」について、自分の考えをまとめる。内容をレポート用紙三枚程度にまとめ、「アソビ・体験・本物に触れる」の視点の大切さを理解させ、又教育実習の体験も踏まえながら、自分の考えを400字程度にまとめさせる。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①,(1)-④,(2)-⑤
定期試験	定期試験は実施しない	
第16回	オリエンテーション(授業のねらいと計画、評価等) 保育案の作成① 保育案の導入等の過程でOHPやOHCなどの情報機器を活用するプランを練る。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②, (2)-③,(2)-④,(2)-⑤
第17回	保育案の作成② 模擬保育を実践するための教材研究を深め、準備をする。	(1)-②,(1)-③,(2)-①, (2)-②,(2)-③,(2)-④, (2)-⑤
第18回	模擬保育 グループごとに実践発表し、意見交流を行う。	(1)-②,(1)-③,(2)-①, (2)-②,(2)-③,(2)-④, (2)-⑤
第19回	紙芝居の制作① 紙芝居についてのガイダンスとグループ分け	(1)-②
第20回	紙芝居の制作② アイデア・企画、役割分担等	(1)-②
第21回	紙芝居の制作③ 役割分担に沿って制作をすすめる。	(1)-②
第22回	紙芝居の制作④ 幼児の認識・思考、動きを考慮したものになっているかを確認し、制作を修正、完成させる。	(1)-②
第23回	紙芝居の制作⑤ 発表準備、リハーサル等	(1)-②
第24回	紙芝居の発表会 グループ発表と意見交流、相互評価	(1)-②
第25回	マリオネットの制作① グループ編成、企画・脚本・役割分担等	(1)-②
第26回	マリオネットの制作② 材料、用具を生かして制作	(1)-②
第27回	マリオネットの制作③ 材料、用具を生かして制作し、背景などにOHPやOHCを活用した絵などを映すなどして工夫する。	(1)-②
第28回	マリオネットの制作④ リハーサル等をして発表準備	(1)-②
第29回	マリオネット劇の発表 グループ発表と意見交流、相互評価	(1)-②
第30回	レポート作成 保育実習での体験を踏まえ、「めざす保育士、幼稚園教諭像」について、自分の考えをまとめる。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①,(1)-④,(2)-⑤
定期試験	定期試験は実施しない	